

# 「再生医療の実現化ハイウェイ」の追加公募について

文部科学省研究振興局ライフサイエンス課

# 平成23年度「再生医療の実現化ハイウェイ」文科省、厚労省、経産省の運営体制

**再生医療の実現化ハイウェイ構想**  
再生医療のいち早い実現化のため、文部科学省、厚生労働省、経済産業省が連続的に支援を実施することが可能な仕組みを構築し、長期間（10～15年間）、研究開発を支援・橋渡しすることを目指す。

- ◆課題の内容や進捗状況に応じた制度**
- ・課題A（厚労省）次年度には臨床研究実施のための効率的臨床研究基盤を探索・実証する研究を対象。
  - ・課題B（文科省）1～3年目までに臨床研究に到達することを目指す。体性幹細胞を用いた研究を想定。
  - ・課題C（文科省）5～7年目までに臨床研究に到達することを目指す。iPS/ES細胞を用いた研究を想定。
  - ・課題D、E（経産省）再生医療の基盤となる周辺機器（簡便で正確な細胞評価装置、培養装置等）を開発。
  - ・課題F（経産省）再生医療技術を活用し、生体内で自己組織の再生を促す再生デバイスを開発。

関係省庁が有機的に連携し、再生医療の実現に向けた取組を一体的に推進

- ◆文科省、厚労省が協働して評価を実施し、結果が芳しくないものは非臨床研究段階から支援を打ち切り。
- ◆PMDAの薬事相談窓口が可能となる仕組みの構築
- ◆基礎研究から臨床研究への迅速かつシームレスな移行を可能とする仕組みの構築

◆課題B、課題Cの採択は、文科省、厚労省が協働して実施



# 再生医療の実現化ハイウェイ 採択課題

## 課題A

1～3年目までに臨床研究に到達  
することを旨とする研究（4課題）

- 理化学研究所(高橋)  
iPS細胞由来網膜色素上皮細胞移植による  
加齢黄斑変性治療の開発
- 東京医科歯科大学(関矢)  
滑膜幹細胞による膝半月板再生
- 山口大学(坂井田)  
培養ヒト骨髄細胞を用いた低侵襲肝臓再生  
療法の開発
- 京都府立医科大学(木下)  
培養ヒト角膜内皮細胞移植による角膜内皮  
再生医療の実現化

実現化加速を  
サポート

## 課題B

5～7年目までに臨床研究に到達  
することを旨とする研究（4課題）

- 大阪大学(西田)  
iPS細胞を用いた角膜再生治療法の開発
- 慶應義塾大学(福田)  
iPS細胞を用いた再生心筋細胞移植による  
重症心不全治療法の確立
- 国立成育医療研究センター(梅澤)  
重症高アンモニア血症を生じる先天性代謝異常  
症に対するヒト胚性幹(ES)細胞製剤に関する臨  
床研究
- 京都大学(高橋)  
パーキンソン病に対する幹細胞移植治療の  
実現化

実現化加速を  
サポート

再生医療の  
実現化  
プロジェクト

既存課題も  
併せてサポート

## 課題C

再生医療の実現化に向けた他の機関の支援  
（1課題）

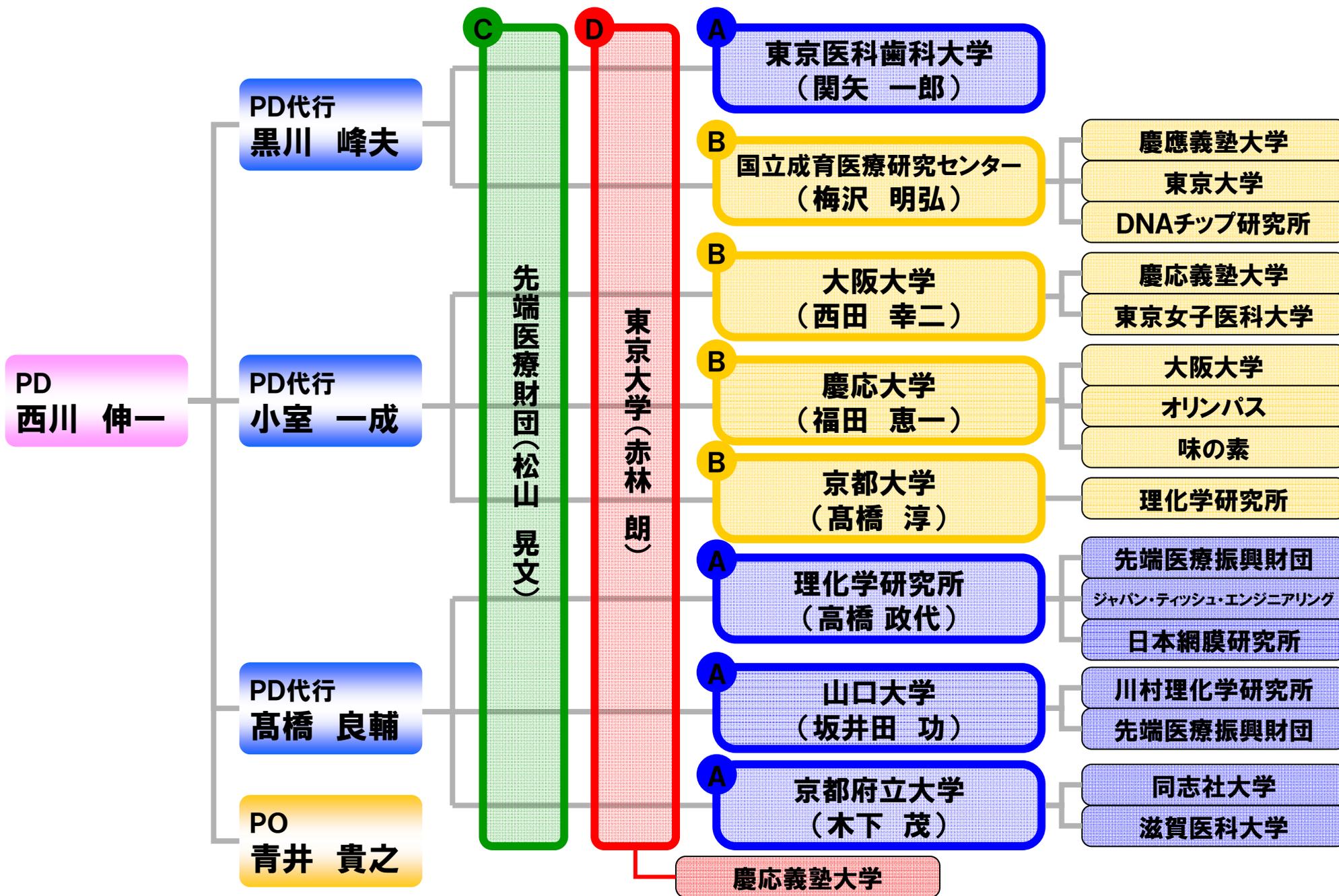
- 先端医療振興財団(松山)  
再生医療の早期実現化と国際展開に向けた研究開発支援

## 課題D

再生医療の実現化に向けた研究開発における、  
倫理上の問題に関する調査・検討・支援（1課題）

- 東京大学(赤林)  
再生医療研究における倫理的課題の解決に関する研究

# 再生医療の実現化ハイウェイの実施体制



## 再生医療の実現化ハイウェイ 公募スケジュール

平成24年 7月上旬	公募開始
平成24年 8月上旬	公募締切
平成24年 8月下旬(予定)	ヒアリング実施
平成24年 9月中(予定)	採択課題決定
平成24年 10月中(予定)	事業開始